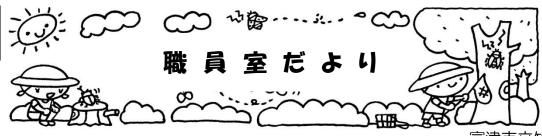
回覧



富津市立竹岡保育所 2024.7.11発行

例年より遅い梅雨入りとなりました。子ども達は、梅雨の合間の晴れ間には、たっぷり戸外での活動を楽しんでいます。今は車で移動することが多く、なかなか雨の日に傘をさして歩くという経験がありません。保育所では、あえて雨の日に、安全を確保したうえで傘をさして散歩をするということもしています。傘にあたる雨の音を聞いたり、雨だからこそ見られる生き物を観察したり、毎日の遊び方は無限大です。

5月、6月は、たくさんの行事がありました。園外保育や交流保育、地域の方との関わり・・。 お伝えしたいことがありすぎてボリュームいっぱいですが、どうぞ、保育所の充実した日々の様子 をご覧ください。



【5月】

5月と言えば、こどもの日。飯田さんから「今年も、地区でこいのぼりを飾ったから、見においで」とお誘いを頂いたので、2日に全員で歩いていきました。子ども達のためにと長いこと続けて下さっているそうで、地域の皆さんの温かさに嬉しくなります。子ども達は、川を跨いで泳ぐこいのぼりに大喜びでした。気候もいい時なので、来年は、ぜひこいのぼりを見ながらお弁当を食べたいと思います。





今年度、初めての取り組みとして、毎月1回『お米の日』を決め、羽釜でご飯を炊くことを始めました。これは、お米作りをより身近に感じてもらい、釜炊きのおいしいご飯をみんなで食べようという思いと、災害時に万が一、炊き出しが必要になった際の職員の訓練も兼ねています。子ども達は釜炊きをするための枝葉を集めたり、お米を研いだりしています。

初めて釜炊きをする職員も多く、おこげが出来ることもありますが、 その風味もまた格別。子ども達もお煎餅みたいと喜んでいました。 今後は釜戸をもう一つ購入し、ご飯とお味噌汁を同時に作れるように していきたいと思います。 そして、磯遊びの本格的なシーズン到来です。今年は、ライフジャケットも購入し、より一層楽しんでいます。以上児だけでなく、未満児も行ける場所があることが竹岡の強みです。市内の公立保育所も遊びに来ています。竹岡の子ども達は、磯のことなら任せてと言わんばかりに、張り切ってくれます。自分達の育った場所に誇りが持てるって素敵なことですね♪いつまでも、この環境、この気持ちが続いて欲しいな・・と思います。







5月は2回、園外保育に出かけました。17日は富津市の消防防災センター、23日は千葉動物公園です。どちらも交流保育を続けている中央保育所のお友達と一緒です。少人数保育だけでなく、こうやって交流を持って、大人数の保育も経験できることがありがたいです。

消防防災センターでは、レスキュー隊の訓練や放水も見せてもらいました。千葉動物公園は、昨年度、計画していたのですが、雨で行けなかったのでリベンジです。ふっつんバスで『千葉みなと』まで送ってもらい、千葉都市モノレールに乗りました。初めてモノレールに乗るお友達も多く、「お空を飛んでいるみたい」「すご~い!」と大喜びでした。動物公園では、ライオンやチーターの迫力にびっくりしたり、テナガザルの上手な運動ぶりに感心したり、本物を見せることの大切さを感じました。図鑑では得られない子ども達の反応を見ると、いかに経験が大切か、考えさせられます。これからも、本物を見せたり、経験したりできるよう、工夫していきたいと思います。







30日には、地域交流支援センター『カナリエ』で、市内公立保育所とみなと幼稚園の年長が集まり、サッカー教室が行われました。竹岡からは、伍桔君が参加しました。全部で50人くらい集まっていたので、本心はとても不安だったと思います。それでも、堂々としていた伍桔君の姿がとても誇らしく、さすが竹岡の年長!と思いました。



伍桔君がサッカー教室に行っていた日、他の子ども達は、飯田さんの畑でじゃがいも掘りをさせていただきました。一緒に種イモを植えてから、飯田さんが芽かきや草取りと、手をかけてくださっていたので、ものすごい収穫量でした!次から次へと出てくるじゃがいもに、子ども達もびっくり。そして、そのたくさんのじゃがいもを全て保育所にどうぞと仰っていただき、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

保育所ではメークインを収穫し、飯田さんの畑では男爵とキタアカリを収穫したので、3種類食べ比べのお土産にさせていただきました。それでも、まだまだたくさんあるじゃがいも。子ども達とどんなお料理にするか考えたので、これから使わせていただきます。そして、せっかく頂いたじゃがいもが痛んでしまうといけないので、交流保育に来てくれた中央保育所、金谷保育所、飯野保育所のお友達にもおすそわけさせていただきました。飯田さん、ありがとうございました。









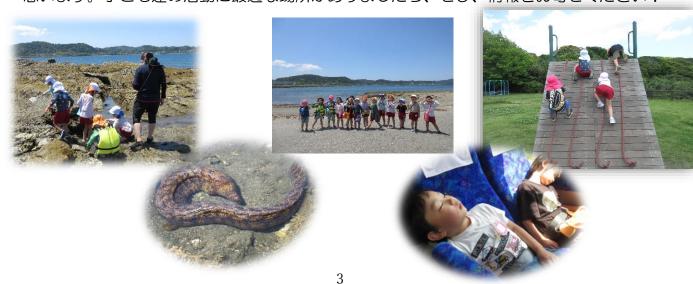




【6月】

5日に館山の沖ノ島と運動公園に行きました。こちらも昨年度、実施できなかったリベンジです。お天気にも恵まれ、きれいな青空、透き通った海と、竹岡とはまた違った磯遊びに大喜びでした。到着早々、ウツボを発見!職員も子ども達も、危険生物は図鑑で確認しているため、遠巻きに観察しました。普段、水族館で見るウツボを生で見れるとは・・。これには、職員の方が興奮してしまいました(笑)館山運動公園は、長い滑り台や見たことのない遊具に大興奮。時間いっぱい遊んで、帰りのバスの中は熟睡でした。

※千葉動物公園や沖ノ島、運動公園など、日頃行くことのない場所は、職員が事前に下見に行き、 ルートやトイレの確認をしています。房総には、まだまだ私達職員の知らない場所もあるかと 思います。子ども達の活動に最適な場所がありましたら、ぜひ、情報をお寄せください!



10日の朝、保育所の畑の先生である込宮さんから「金魚草があるんだけど、子ども達、お花摘みしませんか?」と電話がありました。ありがたいお誘いに、早速、準備をして出かけることに・・。大きいお友達は自分達でチョキチョキ切っていきます。1歳児のお友達は、お花を手でつまんでしまい、挙句、ポイっと。込宮さんが「まだまだ、ポイすることが楽しいもんね~」と仰って下さったのですが、草花遊びに使ってもいいお花と飾るためのお花の違いはどうやって伝えたらいいのか?と保育士の課題となりました。園庭に咲いているシロツメクサは勝手に取って遊んでもいいけれど、花壇やプランターにあるものは・・?大人はなんとなく区別していますが、子ども達にはどうやって説明すれば伝わるのか、考えていきたいと思います。



また、その翌日 11 日には"竹岡を愛する会"より、たくさんのお花(マリーゴールド、サルビア、ペチュニア等)を頂きました。子ども達と一緒にお世話をしていきたいと思います。年間を通して"竹岡を愛する会"からお花を頂き、他の保育所の先生方から「竹岡はいつもお花がたくさんあってきれいだね~」と誉めていただいています。これも地域の皆さんのおかげです。ありがとうございます。

6 日は全谷保育所とも交流をしました。12 日には、全谷保育所の 4 歳児 1

6月は金谷保育所とも交流をしました。12日には、金谷保育所の4歳児2名が路線バスに乗って遊びに来てくれました。その時に、竹岡にあるお神輿を見て「やってみたい」と話していたの

で、ホールの中で"わっしょい♪わっしょい♪"と・・。 「7月5日にお祭りやるから、みんなで来ない?」と お誘いすると、なんと来てくれることになりました。 金谷保育所のお友達全員(6名)が七夕祭りに参加します!



14日は、金谷・竹岡・中央の3つの保育所での交流をしました。一緒にふっつんバスに乗って、富津市立図書館へ行き、中央保育所で給食を食べました。図書館は、絵本のコーナーがあり、子ども達も夢中になって見ていました。富津イオン3階にありますので、良かったら、おうちの方も一緒に行ってみてくださいね。保育所にはない絵本や図鑑、紙芝居がたくさん置いてありますし、大人向けの本ももちろん、たくさんあります。



27日には、子育て講座として、富津市消防署職員による救命講習がありました。残念ながら、参加できた保護者の方は3名だったのですが、保育所職員も交代で受講し、とても充実した講習内容でした。教えていただいたのは、止血の仕方、異物除去の仕方、胸骨圧迫の仕方、AEDの使い方です。乳児と幼児のモデル人形があり、実際に胸骨圧迫をしたりAEDをセットしたりしました。出来る事なら使うことがない方がいいのですが、万が一、使わなくてはいけない事態に遭遇した時、一度でも講習を受けていれば慌てなくて済むかもしれません。

竹岡保育所で自然環境保育を行っていくにあたり、職員が一番学んだことは安全管理です。子どもは、いつどこでケガをするかわかりません。いくら気をつけていても、相手は自然ですから思い通りにはなりません。"万が一"・・がない方がいいですが、もし、その"万が一"があった時のために学んでいます。自然災害も同じです。先日は、磯遊び中に津波が来るという想定で避難訓練を行いました。子ども達は保育士の笛の音を聞き、すぐに海から上がり、高い所(国道)に向かいました。これからも、散歩中の避難訓練を行っていく予定です。





5月、6月は、こんなにたくさんの出来事がありました。まだまだ、書きされないほどですが、 保育所の子ども達が、こんな風に毎日を過ごしているということが伝わるといいな・・と思います。 最後にもう一つ・・・。

旧竹岡小学校の前の道路に新しく看板が立っているのですが、ご覧になりましたか?飯田さんから「畑に看板を立てませんか?」と提案を頂き、保育所用務員にも手伝ってもらって、子ども達が看板を作成しました。年長の伍桔君が『たけおかほいくしょ たいけんのうえん』と書いてくれた手作り看板です。飯田さんが子ども達のためにと提供して下さっている畑に立てました。時々、保育所の職員や園児が、その畑に入ることもあります。竹岡の地に、こうして保育所のために、子ども達のためにという場所が出来たこと、とても嬉しく思います。飯田さんのご協力、地域の皆様のご理解に感謝申し上げます。



裏面に看板作りの様子がわかるドキュメンテーションがあります。どうぞご覧になってください。

